

指導者・団員・母集団のマナー向上

埼玉県スポーツ少年団活動交流委員会

区分	
指導者のマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者自身の行動で子供達に示す。 指導者として常に言葉使いについて自覚する。 指導中の喫煙は慎む。 指導中の態度(椅子の座り方、指導の言葉遣い)に注意する。 ・指導力の向上を目指す。 子供達の良さを伸ばす指導方法を学ぶ。 子供達が考える余地がある指導方法を学ぶ。 指導者は導く人であることを自覚する。(主役は団員である。) 叱る場合本人と周囲の子供達への理由を理解させる。 良いプレーや行動は皆の前で褒める。 ・体罰厳禁 ・指導者は見られている。 保護者から厳しい指導を求められても、決して暴力的指導(暴力、暴言)は慎む。 ・団員のマナーの見本となろう。
団員としてのマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・対戦相手は敵でなく仲間であることを意識しよう。 良いプレーを皆で褒めよう。 パートナーとして相手を尊重しよう。 勝っても謙虚に振る舞い、負けてもクヨクヨしない。 ・協調性を育てよう。 叱られた場合、理由を理解しよう。 ・ルールをしっかり守る。 審判の判定を受け入れる。 言葉使い、態度に注意する。 あいさつ・返事はしっかりすること。 使った場所はきれいに片づけ清掃しよう。
母集団としてのマナー	<ul style="list-style-type: none"> ・団員のマナーの見本となろう。 ・応援のマナーを考えよう。 自己中心的、自分の子供中心の行動は慎む。 審判批判や相手(チーム、個人)への批判的発言厳禁。 指導者への批判的発言を慎む。 ・勝利至上主義偏重をやめよう。 自分の子供・チームの勝利だけを求めない。 母集団は指導者に勝つための過剰な指導は求めない。 団員、指導者に対する公平な応援、サポートをしよう。 ・団活動に対する理解、母集団に関する理解を高めよう。